



Japan Digest No.3

2006年6月29日(木)

INPEA 日本国会員各位殿
WEAAD 参加者各位殿

梅雨の季節となりましたが、皆様におかれましては、その後、いかがお過ごしのことでしょうか？

世界約40カ国にネットワークを持つ、INPEA(国際高齢者虐待防止ネットワーク)の日本国事務局は、去る6月15日(木)に、日本高齢者虐待防止学会の後援を受けて、第1回目の「世界で高齢者虐待を考える日」(World Elder Abuse Awareness Day: WEAAD)のイベントを開催いたしました。研究者、ホームヘルパー、大学院生・大学生そして「法研」報道部からの取材の方を含む24名の方々にご参加いただき、成功裏に会が終了致しました。本日は、そのWEAADのイベントの様子をジャパン・ダイジェストNo.3としてお伝えさせていただきます。WEAADは、INPEAが6月15日に世界各国で同時にイベントを開催するという壮大なイベントでした。日本は、日付変更線のため、世界で最初に第1回WEAADのイベントが開催されるということで、WEAADキックオフ・プログラムと命名して、本イベントに取り組みました。

※ WEAADの趣旨

この「世界で高齢者虐待を考える日」(WEAAD)の趣旨は、高齢者虐待が、世界中で発生している事実の認識を高めると同時に、効果的な対応の必要性を再確認する事です。そして、この日を機会に、高齢者に対する身体的な虐待や世話の放任が、「グローバルな社会問題」であるという位置づけが定着して、問題を予防する活動が、次の一年、さらに長期の目標に向けて推進するよう望みたいとの願いからINPEAで企画されたものです。

<2006年6月15日(木)第1回「世界で高齢者虐待を考える日」開催報告>



2006年6月15日(木)の午前10時より2時間、池袋にある淑徳大学池袋サテライト・キャンパス6階で、日本高齢者虐待防止学会の後援で、第1回「世界で高齢者虐待を考える日」のイベントが開かれました。来賓講演と致しましては、日本高齢者虐待防止学会の会

長である高崎絹子先生（東京医科歯科大学大学院教授）および ILC-Japan（国際長寿センターの日本国事務局）の事務局長である志藤洋子氏をお迎えしました。司会は、INPEA のアジア地域担当理事の多々良紀夫先生（淑徳大学大学院総合福祉研究科教授）が担当されました。以下に、キックオフ・プログラムに沿って、簡単に紹介させていただきます。

※ 挨拶：多々良アジア地域担当理事

第1回 WEAAD キックオフ・プログラムは、司会の多々良先生によって予定の開始時刻の午前10時に始まりました。まず、多々良先生より INPEA 設立の趣旨——世界で高齢者虐待を無くしていく取り組みをする——との説明の後、INPEA 事務局の紹介及び来賓講師の先生方の紹介がありました。そして、今回のイベントのハイライトであるビデオは残念ながら間に合わなかったのですが、動画で届いたものを一部配信することや、イベント最後にはライブで国際電話をかけて、アメリカの国連本部の WEAAD のイベントに参加すべくアルゼンチンから来ていた INPEA の世界会長とスピーカーホンで皆様にご挨拶をする予定であることを、多々良理事が会のはじめに説明されました。

その後、出席者20名の方々に、簡単な自己紹介をしていただきました。以下の写真は、参加者の方々の自己紹介の場面です。

自己紹介の場面



※ 来賓ご挨拶

① 高崎絹子先生（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科）



←高崎先生は「虐待防止の実現へ向けて」というタイトルで、厚い資料と楽しいスライドをたくさん準備して講演をしていただきました。



② 志藤洋子先生 (ILC-Japan の事務局長)

志藤氏は、ILC-Japan の歴史ある活動の一つである介護電話相談の結果を、ILC-Japan のニュースレターである「アドボカシー」を用いながら、特に高齢者虐待に関するデータについて紹介していただきました。 →



お二人の講師の先生方による講演が終わった後には、数人から質問や意見が活発に出され、講師陣とのディスカッションがありました。

※ ビデオによる INPEA 事務局からのご挨拶

先述いたしました、ビデオはイベント当日の 15 日までに事務局へ届きませんでした。しかし、インターネットを通して配信された動画を、一部上映することができました。その動画は、2006 年の 6 月 1 日に、デンマークのコペンハーゲンで開催された IFA (International Federation on Aging) での会合風景を、INPEA の事務局長である Ms. Suzan Somers が様々な参加者にインタビューをするという形で録画されたものでした。その動画のタイトルを下の写真に示しました。その間、多々良 INPEA アジア地域理事は、国連で WHO と共催で祝う WEAAD (世界で高齢者虐待を考える日) のイベントに出席するためにニューヨークに来ていた INPEA 会長 Dr. Lia Daichman へ国際電話をかけていました。



配信された動画のタイトルは

“INPEA Records ‘Global Moments’” (「INPEA はグローバルな瞬間を記録する!」) です。

※ INPEA 世界会長 Dr. Daichman 氏と司会多々良先生との国際電話での会話の概要

「おかしいな。どうしてつながらないんだ！！リハーサルでは旨くいったのに・・・」

国際電話がうまくつながらないので、急遽淑徳大学池袋サテライト・キャンパスのセンター長の塔下氏（写真左端）のヘルプをいただきました。おかげさまで、つながりました。事務局は大変感謝しております。



※ INPEA 世界会長 Dr. Lia Daichman のメッセージ

「明日の朝が早いので、既に休んでいます。こうして日本の皆様とお話できる事を大変嬉しく思います。本日は、『世界で高齢者虐待を考える日』のために集まっていたいて、有難うございます。この日のために世界中の約 30 の国の INPEA 会員が、何らかのイベントを行います。しかし、皆様が今参加されている日本のイベントは、The First World Elder Abuse Awareness Day (WEAAD: 第 1 回世界で高齢者虐待について考える日) の世界で最初の集会となる歴史的に大変意義のあるものです。従って、INPEA では、皆様に Certificate of Attendance を発行することにしました。今、私がいるニューヨークは、間もなく明日の 6 月 15 日になりますが、明日は INPEA とパートナーの WHO が共同で、WEAAD を祝う特別集会を、国連本部 30 階の第 2 会議室で開催します。高齢者虐待は、いまや深刻な社会問題として、多くの国でその対応の法制化が考えられています。日本では、この 4 月 1 日から、大変先進的な高齢者虐待防止法が施行されたと聞きました。法律をパスさせるのは立法担当者の役目ですが、それを施行してゆくのは、皆様の仕事であり、責任です。どうか頑張ってください。皆様の健康を祈りながら、この短い挨拶を終わりにします。」

以上、簡単ですが、INPEA 世界会長の Dr. Daichman の国際電話でのメッセージを紹介しました。

※ お知らせ

第 33 回国際福祉機器展 H.C.R.2006 での高齢者虐待のワークショップ開催

2006 年 9 月 27 (水) ~ 29 日 (金) に第 33 回国際福祉機器展 H.C.R.2006(財団法人保健福祉広報協会主催)が開催されます。その中日の 9 月 28 日 (木) に、イベントの一環として、高齢者虐待のワークショップがあります。ぜひ、ご注目下さい(URL: <http://hcr.or.jp>)。なお、本件の情報をご希望の方は、塚田まで電子メールかファックスでお知らせください。

※ おわりに

6月15日(水)というウイーク・デイに開催されたにもかかわらず、講師の先生方を含む24名の参加者の方々に恵まれ、第1回目の「世界で高齢者虐待を考える日」(WEAAD)のキックオフ・イベントを無事に終えることができましたことは、INPEA 日本国事務局と致しまして大変嬉しく、また皆様のご参加を心より深く感謝いたしております。



(来賓講演者の方々：左から志藤氏、高崎先生)



来年はより多くの参加者の方々を迎えて、第2回目を開催できたらと願っております。引き続きまして皆様のご協力をよろしく御願い申し上げます。

日本は、世界で高齢者虐待防止法を施行した3つ目の国です。その法律は、在宅、施設の両方を含むことで画期的であるばかりではなく、加えて、被虐待者および虐待者の養護も含めた素晴らしい法律であると各国から評価されております。このよう

な高齢者虐待の、有る意味で【先進国日本】となった現在、研究者それから実践者の皆様と手を取り合って、日本の高齢者虐待への取り組みを世界へ発信していけたらと願っております。皆さん、共にごがんばりましょう！！

末筆になりましたが、国連助言機関である INPEA (国際高齢者虐待防止ネットワーク: URL は <http://www.inpea.net/>) の入会は無料です。奮ってご入会下さい！また、すでにご入会の方は、皆様の同僚・ご友人をご紹介ください！ご入会者には、世界からの配信メール(英語です: 希望者に転送いたします)や日本版ニュースレター (Japan Digest) が郵送されます。

それでは、暑くなります。皆様、どうかくれぐれも御自愛下さいませように。皆様の益々のご成功を心より祈念いたしております。

INPEA 日本国事務局代表 塚田 典子
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科
電子メール: ntsukada@gsb.nihon-u.ac.jp
Fax: 03-5275-8386 (講師室)